

平成 30 年度 新たな木質部材等を学ぶ建築講座のご案内

1. はじめに

県林業木材産業課では、本県が全国的な強みを有する合板や集成材等に加え、新たな木質部材の公共・民間の非住宅建築における利用拡大を切り口とし、本県における木質構造、意匠設計等に精通した建築人材の育成を図るため、本講座を実施します。

今回の講座では、非住宅建築事案の課題について基本構想を立案、プレゼンすることを最終講義の内容にしており、それに関連する講座を受講いただく予定です。また、受講者個人、もしくはグループにより立案される基本構想については、有識者による指導を受けたのち、県HP等で紹介する予定です。

2. 日程と概要

第1回（平成30年6月30日（土） 13:00～17:30） 会場：秋田市文化会館

<設計者として身に付けておきたい木質材料の特徴や利用上の注意点と中層大規模木造建築物の構法等に関する講義>

①建築講座・全体説明

県林業木材産業課 担当

- ・今年度の建築講座の目的、全体の流れ、日程等を説明したのち、大前提とも言える本県における森林資源について説明します。

②進化する木質材料

木構造振興（株）客員研究員 原田浩司 氏

- ・非住宅建築物に木材をひろく利用するにあたり、設計者として身に付けておきたい、木質材料の様々な特徴や利用上の注意点を説明いただきます。

③ひろがる木造建築

東京大学 教授 腰原幹雄 氏

- ・さまざまな木質材料によって実現した中層大規模木造建築について、構法、構造形式を多角的に説明いただきます。

④意見交換

本日講演いただいた2人の講師（木構造振興・原田客員研究員、東大・腰原教授）を交え、当日の講演内容等を含め、意見交換をします。

第2回（平成30年8月26日（日） 13:00～17:30） 会場：秋田市文化会館

<非住宅建築事案を実際に手掛け、構想を具現化させている方々による講義>

①普及、まちづくり、木材利用を考えた企画・構想と設計・開発

スタジオ・クハラ・ヤギ 代表 久原 裕氏、八木 敦司氏

- ・木と鉄のハイブリッド部材を用いた東京都国分寺のフレーバーライフ本社ビル、大火で消失した糸魚川駅前の復興共同住宅の設計をトピックに、都市木造建築の設計について、説明いただきます。

②木材を利用した地域づくり

秋田公立美術大学 教授 小杉栄次郎氏

- ・秋田駅周辺を取り上げた都市木造の構想とその取り組み状況を説明いただきます。

③（総括演習の）課題発表

木構造振興（株）客員研究員 原田浩司氏

- ・建築講座第6回（平成31年3月開催）における総括演習の内容等について説明いただきます。

第3回（平成30年9月後半 13:00～17:00） 会場：未定

＜非住宅建築事案について、設計における注意点、日頃疑問に思う事案、抱えている問題等を講師と共に検討する講義＞

①（仮）意匠設計と構造設計の在り方

東京大学 准教授 佐藤 淳氏（佐藤淳構造設計事務所 代表）

②（仮）プレカット技術、接合の現状

秋田県立大学 教授 板垣直行氏

第4回（平成30年10月（予定）8:30～18:30）

＜最近完成した県内の木造非住宅建築施設とそれを可能にした集成材工場の視察＞

①道の駅ふたつ（能代市二ツ井町）

②道の駅おおゆ（鹿角市十和田大湯）

③秋田グルーラム（株） 本社工場（集成材製造）、 釈迦内工場（プレカット）

※受講者には県庁に集合いただき、当日はバスで移動する予定です。

第5回（平成30年11月11日（日） 13:00～17:00） 会場：未定

＜非住宅建築事案における防耐火に関する講義＞

○木造の防耐火技術と建築事例について～火事に負けない中大規模木造をつくる～
桜設計集団 代表 安井 昇氏

- ・これまでも数多くの木造非住宅建築物を手かげてきた講師より、法令や防耐火技術等について、説明いただきます。火災実験の動画や写真から、火事に負けない＝燃えながら安全にする設計手法を学びます。

第6回（平成31年3月（予定） 13:00～17:00） 会場：未定

＜演習課題についての発表、意見交換＞

○ 総括演習（課題発表会）

（仮）板垣教授、小杉教授、原田客員研究員、他

- ・第2回で発表済みの課題について、受講者（もしくは受講者グループ）によるプレゼンを行い、参加いただいた有識者（講座講師陣）と有益な意見交換を行います。

3. 場所

秋田市文化会館ほか（実施の都度、お知らせします。）

4. 対象者及び人数等

木造非住宅事案を手掛けたいとする建築士、15名程度。

なお、建築講座の第1回、第2回については、木造非住宅事案に関心のある一般聴講者40名程度を募集します。

申込者が定員を上回った場合、事務局による抽選で受講者を確定させていただきます。(受講をお断りする場合もありますので、あらかじめご容赦下さい。)

5. 主催

秋田県、公益財団法人秋田県木材加工推進機構

6. 諸注意

- ① 今回の建築講座は6回の講義を受けることにより演習課題に取り組める内容に設定しています。ついては、全ての講義を受講するよう努めて下さい。なお、建築講座の開催日は講師の方々と調整になりますが、土日開催を予定しています。
- ② 演習課題は木造非住宅事案の基本構想を立案いただきます。基本構想は総括演習で講師の方々から意見交換を経たのち、主催者側に提出いただきます。後日、提出いただいた基本構想は県HP等で周知しますので、ご承知おき下さい。
- ③ 従前の事例紹介等を主体とした講演会と異なり、特に第3回以降は実務主体の建築講座になります。講義の内容は日頃より木材を利用して建築物を手掛けている設計士向けの内容になりますので、留意下さい。

7. 申込み方法

別添「受講申込書」に必要事項を記入の上、6月22日(金)までに、FAXにて申込書記載のあて先に提出下さい。

8. 問合せ先

秋田県農林水産部林業木材産業課 木材利用推進班 担当：柴田
電話：018-860-1915

※ 本講座は、各日共に建築士会の継続能力開発（CPD）制度プログラム認定を受ける予定です。

※ 演習等は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。